

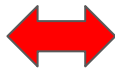
# 水族館における展示方法の提案

～生態系維持に向けて～ 仙台三高理系F1班

## 1. 序論

### 水族館展示の目的

- ・生物の生態を伝える
- ・生態系保護に繋げる



### 来館者の興味・関心

- ・水族館は娯楽施設
- ・見て楽しいものが良い

水族館と来館者の双方のニーズに応える  
展示方法の提示

## 2. 研究と方法

第1回アンケート(高校生が求める水族館とは?)

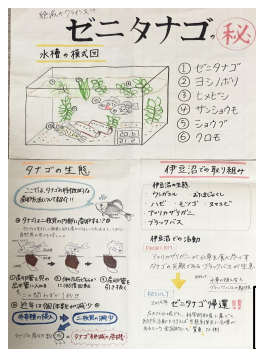
水槽作成(アンケートを元に水槽を作成)

第2回アンケート(抱いた印象、さらなる改善点)

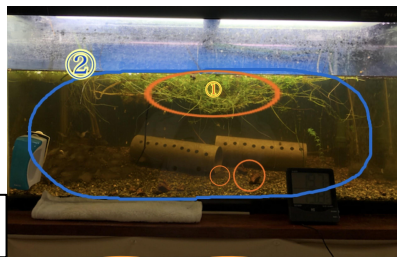
## 4. 水槽

伊豆沼の特徴を取り入れた水槽や現状の問題をわかりやすく伝える水槽を提案

### 興味を引くデザイン QRコード



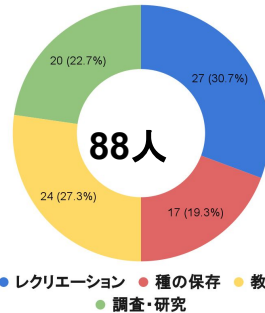
- ①伊豆沼に生息する動植物
- ②濁った水



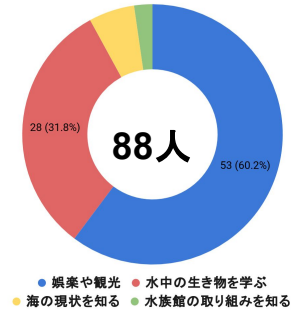
娯楽目的で来館した人にも生態系についての学びを提供することが可能になる!!

## 3. 第1回アンケート

水族館の役割



自身が水族館に期待すること

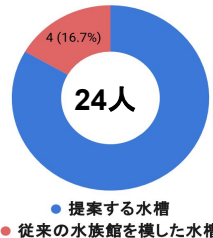


水族館の本来の役割を学術的なものと認識している人が多いものの、実際に訪れる時には観光を目的としている人が多いため、目を引くデザインで学べる水槽が必要ではないか

## 5. 第2回アンケート及び考察

Q.従来の水族館を模した水槽と提案する水槽はどちらが学びを得られたか。

どちらの水槽が良いと思ったか



約75%が提案した水槽の方が良いと回答!!

しかし、

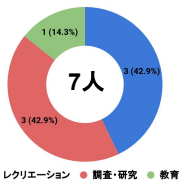
- ・水槽の中が暗くて見にくい
  - ・魚の身体の作りや特徴が濁った水で分かりにくい
  - ・植物が多すぎてタナゴが目立たない
- などの改善点の指摘があった。

### 〈改善策〉

- ①照明の明るさを変える → タナゴへの負担が懸念
- ②水草を沼の底に生えているように設置
- ③余分な水草を減らす

## 6. 内陸部でのアンケート

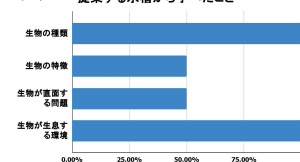
水族館の本来の役割



内陸部の人々と沿岸部の人々の水族館に対する意識の比較

内陸部の人々は水族館の本来の役割について、レクリエーションと回答する割合が沿岸部に比べ、多かった。また、提案する水槽から生物の種類や生息する環境についての学びが深まることが分かった。

### 7人 提案する水槽から学べたこと



## 7. まとめ

アンケート結果から多くの人々が水族館に対し、娯楽としての設備を求めていることがわかったが、水族館側としては生態系について学んで欲しいという双方のギャップが見られた。このような問題を解決するために、今回の水槽をさらに改善し、娯楽と教育の両立を目指したい。

### 参考文献

「水族館に対する意識調査の結果」谷崎音・上野裕介  
「ゼニタナゴシンポジウム」ゼニタナゴ研究会  
「動物園での研究・教育のためにできることー京都市動物園の取り組み紹介ー」

### 謝辞

ゼニタナゴの採集と提供にあたって、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 主任研究員藤本泰文先生と仙台うみの杜水族館相澤真智様、松川正史様に多大なるご助言とご協力をいただきましたことをこの場を借りて厚く御礼申し上げます。